

発行所 〒553-0003 大阪市福島区福島1-2-12-605
TEL 06(6458)2045 FAX06(6458)6520
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人 狩野 智子 一カ年 8,400円

バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

菓業食品新聞
The Journal of confectionery

URL: http://okashi.info e-mail: okashi@nespe.com

菓子業界 平成の軌跡

平成元年(1989)から31年(2019)までの変遷(前編)

平成元年(1989年)1月8日から30年以上続いた平成時代は、平成31年(2019年)4月30日をもって、幕を閉じる。天皇陛下譲位により、5月1日からは元号を「令和」とし、新時代がスタートする。弊紙では平成の菓子業界を取り巻く歴史の軌跡を辿るべく、過去に掲載した紙面から業界の主なニュースを取り上げた。平成10年頃までは本社竣工などの景気の良さを感じさせる記事が多く、業界に勢いが感じられた。その後、ゆっくりと売上高の減少、倒産、廃業による規模縮小の記事が増え、栄枯盛衰が激しい時代であったと思われる。次号も引き続き、特集を継続する。

↓(16年4月)「大阪府菓子卸商業組合」から、「近畿菓子卸商業組合」へ変更、発足。地区を大阪から、大阪、兵庫、和歌山、滋賀、奈良へ変更し、広域組合結成が実った。

大阪で債権者説明会
更生法適用申請までの経過報告
橋高 更生法適用申請までの経過報告
橋高 更生法適用申請までの経過報告
橋高 更生法適用申請までの経過報告

←(5年9月)資金繰り悪化が表面化し、信用不振から大手メーカーの支援が打ち切られた菓子卸の橋高(株)は大阪地裁に会社更生法適用申請に踏み切った。負債総額330億円と発表、その後の動向では500億円以上とも言われ調査が続いた。大阪市北区で債権者説明会を開催。負債を上回る資産に何故更生法かなど、疑問の声が多かった。本業以外の事業で経営が傾き、2年後に事業清算を行っている。

花博・キャンディキャッスル館
楽しいメルヘンの世界
ロマン溢れる「金平糖」や「ドラヤキ」
竣工・開館式を盛況裡に
キャンディキャッスル館

↑(2年3月)国際花と緑の博覧会に、日本菓子加工食品新興協会は「キャンディキャッスル館」のパビリオンを建設。目で見えるお菓子の不思議をテーマに、金平糖、どら焼きの製造工程が見学可能。期間中キャッスル館には216万人が訪れ、パビリオンの中でも11位と人気だった。

菓子のおふろさと京都で
近畿中心に盛り上がる
消費者ニーズに即応の商材に焦点
近畿菓子卸商業組合

大菓卸商組
需要喚起キャンペーン実施を報告
5月12日 近畿菓子卸商組発足
「アクオス」、「図書券」を景品に

←(元年8月)弊紙主催の京都ショウ(優良製菓製パン・喫茶・外食関連機器原材料展示会)が京・岡崎の勧業館で開催。近畿のユーザー、メーカーに喜ばれ、平成2年まで毎年実施し、総計17回開催した。

百貨店にコラボショップ
グリコ×阪急×高島屋
ハッピーターンズとパトンドール
最大3時間待ちの人気

1~3面 平成時代軌跡特集
5面 百貨店VD&WDランキング
8面 叡電と「であいもん」コラボ

→(24年11月)日本初、流通菓子メーカーが百貨店(高島屋、阪急)とコラボし、ショップを開店。グリコ「パトンドール」、亀田「ハッピーターンズ」に行列が続いた。また同年4月、東京駅にグリコ、森永、カルビーが集結した「東京おかしランド」がオープン。アンテナショップブームの年として、業界に新風を起こした。

Furuta®
新発売 NEW
Furuta ドレミツグ チョコレート
Furuta 生クリーム チョコレート FRESH CREAM
フルタ製菓株式会社 〒544-0023 大阪市生野区林寺 6-7-22
http://www.furuta.co.jp/